



JR東日本カップ 2005 第79回関東大学サッカーリーグ戦(前期) 1部リーグ 第2節

駒澤大学1 - 2 法政大学

今季昇格したばかりの法政大にまさかの敗戦 第1節の勢い続かず、急ブレーキ

最後まで目覚めず……

開幕試合、「ここ近年白星を挙げられていなかった駒大。牧野の「無失点で勝ちたい」という言葉通り失点を0に抑えての開幕勝利は好スタートとなった。しかし、その勢いを持ち込むことは出来ず駒大のやりたいことを相手にやられていた(牧野)試合となった。

開始1分法大のカウンターから吉田のロングスロー。何とか入れようと粘る法大に桑原がクリアしようとするがこれをミス。すかさず市川がヘディングでゴールを決めた。あっけなく先制点を取られ、波に乗れず思うように攻撃を仕掛けることが出来ない。裏に抜けようとするも相手の速さで上回り、ボールをゴール前まで持っていけない。2回目の悲劇が起こったのは26分。ボールを回してチャンスをつかがう法大にDF陣立ち入れず、井上のゴールが決まる。その直後FKを得るが宮崎のシュートは惜しくもキーパー正面。

後半、巻き返しを図りたい駒大は赤尾を巻に変え赤嶺を中心に3トップで挑む。51分、得意のドリブルで原がカウンターからのシュート。決まらないものやペースを掴んだ58分。宮崎のCKを巻がセントリング。赤嶺が頭で合わせた。しかしペスを完全に物に出来ない。62分、鈴木亮のCKに再び巻が反応し赤嶺に渡るもゴールならず。そのあと幾度かチャンスはあったがセカンドボールを拾えない、決めるべきところで決められないなどの課題が響き、同点に追いつけず無常のホイッスル。

「入り方が悪かったからスルスルいってしまっただけ(廣井)」「中盤で前からのプレスがかかっていなかった(牧野)とたくさんの課題が見つかったが、次節までにとだけ修正できるかがカギだ。法大の「勝ちたい」という気持ちに負けてしまったイレブン。次節は「駒大サッカー」が見られることを期待している。(山本 麻紗子)